

水産海洋地域研究集会

第5回 北海道水産海洋研究集会

— 北海道周辺海域の海洋構造の長期変動と水産資源変動 —

日 時：2020年1月15日（水） 13:00～17:30

場 所：かでの 2.7 710 会議室（札幌市中央区北2条西7丁目）

共 催：一般社団法人水産海洋学会，道総研水産研究本部

コンピナー：中多章文（道総研釧路水試），奥村裕弥（道総研中央水試）

総合司会：中多章文（道総研釧路水試）

挨拶：笠井亮秀（一般社団法人水産海洋学会副会長） 13:00～13:10
三宅博哉（道総研水産研究本部）

趣旨説明：中多章文（道総研釧路水試） 13:10～13:15

話 題

座 長：西田芳則（道総研函館水試）

1. 明治以降の北海道周辺海域の特徴的な海況変動と定期海洋観測の30年 13:15～13:40
奥村裕弥（道総研中央水試）

2. 北海道周辺海域の定期海洋観測で捉えられた海流と水温の長期変化 13:40～14:10
佐藤政俊（道総研中央水試）

座 長：田中伊織（元道総研中央水試）

3. 北海道周辺海域の定期海洋観測で捉えられた低次生産の年変動 14:10～14:40
嶋田 宏（道総研中央水試）

4. 道東太平洋のA-Line 観測で捉えられた亜寒帯循環（親潮）の長期変化 14:40～15:10
黒田 寛（水産機構北水研）

— 休 憩 — 15:10～15:30

座 長：品田晃良（道総研中央水試）

5. 北海道周辺沿岸定地水温の長期変動 -100年を超える観測記録から- 15:30～16:00
田中伊織（元道総研中央水試）

6. 道西日本海におけるスケトウダラの資源量変動に及ぼす海洋環境変動の影響 16:00～16:30
美坂 正（道総研稚内水試）

7. 道南海域におけるコンブ生産と海洋環境の長期変化 16:30～17:00
前田高志（道総研函館水試）

総合討論：（進行：中多章文，パネリスト：三寺史夫（北大低温研），小司晶子（札幌管区気象台）は
じめ複数研究機関（予定））

17:00～17:30

開催趣旨：道総研水産試験場（道水試）が北海道周辺を網羅した「定期海洋観測」を年6回の頻度で開始してから31年が経過した。北海道は主に親潮と沿岸親潮の影響を受ける道東／道南太平洋，対馬暖流が卓越する日本海，季節海水域のオホーツク海に囲まれ，海域別の環境は極めてユニークであるが，30年平均値（平年値）に基づいて海洋環境の長期変動を海域別に比較した例はない。また，この平年値から，直面する気候変動の影響評価も可能となってきた。本シンポジウムでは，物理／化学／生物環境の長期変動を海域別に概観し，水産資源変動との因果関係を探りながら，水産資源変動機構の解明や変動予測，気候変動への対応を通して，水産資源の管理や増殖に寄与する海洋観測および情報発信の具体像を議論し，今後の方向性を展望する。